令和元年度 第１回 熊谷市地域公共交通会議 会議録

令和元年５月１６日（木）
午後１時３０分～
熊谷市役所６階　６０３会議室（東）

１　開　会
２　会長あいさつ
３　自己紹介、欠席委員の報告
４　議　題

（１）平成３０年度　事業報告について
（２）平成３０年度　ゆうゆうバス利用者数について
事務局：別添資料に従い説明。
→　報告のとおり了承された。

（３）令和元年度　事業計画（案）について
（４）路線バスの熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」
延伸事業について
（５）ゆうゆうバス新規路線の試験運行プロポーザルの実施について
事務局：別添資料に従い説明。
→　原案のとおり決定した。

（６）生活交通確保維持改善計画（案）の策定について
事務局：別添資料に従い説明。
委員：江南地域は、ほたる号が運行しており、路線バスもあるが、南の方は高齢の方が多く、バス停まで歩けない方もいる。どのような対策を考えているか。
事務局：市では、ゆうゆうバスを運行しているが、鉄道も路線バスもない交通不便地域の対策として行っている。交通網計画の

中では、バス停から半径３００ｍの地域はバスの利用エリアと考えており、まずは、路線バスとの競合も考慮しながら、ゆうゆうバスの充実を図りたいと考えている。

委員：妻沼地域に導入していただいたグライダーワゴンについては利用が少ないようである。どこでも乗降車ができるようにしてはいかがか。

事務局：先ほどご説明した通り、月 1,200 人程度はご利用いただいているところ。ただし、地域によって利用にばらつきがあり、ご覧いただいたのは、利用の少ない地域であったと考えられる。なお、バス停以外での乗降は法律で認められておらず、特例としてのフリー乗降についても、過疎地域に限られるものと聞いている。

→　原案のとおり決定した。

５　その他

（１）籠原駅南口～深谷日赤路線バスの新規運行について

事務局：別添資料に従い説明。8 月頃、書面協議をお願いする。

委員：今回の路線バスの廃止については、地域にとっては非常にマイナスであった。現在は廃止の影響で、籠原駅南口ロータリーが混雑している。

（２）熊谷スポーツ文化公園へのアクセス改善のためのバス事業者への協力依頼について

事務局：別添資料に従い説明。

委員：スポーツ文化公園は、スポーツに限らず、様々なイベントがある。東武グループ各社の協力体制で増車に対応してまいりたい。なお、配布資料のとおり、新たに導入したバスロケーションシステムについては、ご好評をいただいている。

（３）令和元年度 新規事業（交通関連）について

①　秩父鉄道熊谷駅バリアフリー化補助事業

②　熊谷駅、小川町駅間路線バス利用促進協議会負担事業

③　ユニバーサルデザインタクシー補助事業

④　自転車シェアリング事業

事務局：別添資料に従い説明。

委員：ユニバーサルデザインタクシーについては、東京都がオリンピックに向けて導入のテコ入れをしたのが始まりであったと承知している。熊谷市においても増やしていきたい。また、タクシー業界としては、先ほどご意見のあった、交通不便地域への対応としては、デマンド方式によるお手伝いができるのではないかと考えている。

（４）埼玉県地域公共交通インバウンド利用促進事業について

事務局：別添資料に従い説明。

委員：補足として、多言語券売機については、切符を買えるだけではなく、多言語で観光案内も行えるようになっている。

（５）その他

委員：前回の交通会議で、熊谷駅北口の混雑について議題となったので、5 月 9 日に調査を行った。資料のとおり、非常に危険な状態が散見された。

事務局：前回の交通会議で県交通政策課からもお話のあった通り、県が事務局となり、バス協会が主体となったバスの環境改善のための要望の場があり、このようなバスにかかる諸問題を、関係官庁も交えて専門的に解決する場となっているとのことである。こちらに要望されてはいかがか。

６　閉　会